

Title	どうしたら大人の礼拝につながるのか
Author(s)	木戸, 健一
Citation	キリスト教と諸学 : 論集, Volume28, 2013.3 : 137-151
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4457
Rights	

SERVE

聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

どうしたら大人の礼拝につながるのか

木戸 健 一

一 はじめに

今年度（二〇一二年度）の「教会と聖学院との懇談会」は、七月二日（月）一七時より女子聖学院中学校高等学校を会場に開催された。

聖学院高等学校出身で、ゴスペルアーティストのサムエル氏による賛美の後、筆者が「どうしたら大人の礼拝につながるのか」と題して発題をし、しばらくコアグループによるセッションを持った。その後、日本基督教団川口教会員で教会学校教師をされている石原康男氏より、教会学校の分級で教会員の方に、ご自分の体験に基づいたお話をしていたことで、教会学校の生徒と教会員の交流をはかる取り組みをされていることが紹介された。続けて、日本基督教団銀座教会副牧師の伊藤大輔先生から、「二分の一成人祝福式」という名称で十歳の時に祝福式を実施し、その時から大人の礼拝に出席することを促すという取り組みが紹介された。その後夕食をとりながら、しばらくセッションの時を持ち、最後にh-i-b-a.（高校生聖書伝道協会）とK G K（キリスト者学生会）の代表の方

から、ご自分たちのグループが教会との連携を大切にしながら活動をされている様子が紹介された。

本稿では、まず当日の筆者の発題をそのまま掲載することによって、今年度の懇談会の基本的な方向性をお示ししたい。次に懇談会に参加される教会の方に事前にご記入いただき、当日冊子にしてお配りした「教会紹介シート」の最後の質問事項である、「大人の礼拝につなげる工夫でなさっておられることがあればご記入ください」に、お答えいただいた各教会の取り組みを一部省略・加筆し掲載した。最後に前年度後期二二週のうち一四回以上教会に行っている生徒を対象に行った、「教会についてのアンケート」を女子聖学院の高橋恵一郎チャプレンがまとめたもの（これも当日冊子してお配りした）を一部省略・加筆して掲載した。教会と学校における福音伝道のために用いていただければ幸いである。

二 発題 「どうしたら大人の礼拝につながるのか」

「どうしたら大人の礼拝につながるのか」。この問いは、ここに集っておられる皆さんに共通した問いであると思います。牧師、伝道師、教会学校の校長、教師の先生方にとってはもちろんのこと、聖学院の各学校から参加しています教職員も、その多くが教会の牧師、信徒として、教会さらには教会学校に関わっております。教会に送り出す側であると同時に、受け入れる側でもあるのです。わたしたちは、教会を代表しているとしても、学校を代表しているとしても、共に主の伝道の御業に携わる同労者なのです。

それではどうしたら、学校から送り出し、教会学校に集められている中高生たちを、大人の礼拝につなげていくことができるのでしょうか。教会学校の礼拝ではなく、教会の主日礼拝につなげていくことができるのでしょうか。

さらに言うならば、洗礼を受け、教会へとつなげていくことができるのでしょうか。もちろんその前に、どうしたら園児や児童を、教会学校につなげていくことができるのかということがあります。また、どうしたら学生を、教会につなげていくことができるのかということもあります。そのことは、幼稚園、小学校あるいは大学が担当校となった時に委ねるとして、本日は中高生に焦点を絞らせていただき、教会学校から教会へとつなげていくという局面について考えて見たいと思います。

まず学校の側からの取り組みとしては、例えば高校生になったら教会学校ではなく、大人の礼拝に出るように勧めめることです。実際、生徒の教会出席に熱心に取り組んでおられる玉川聖学院では、高校入学の際、これからは教会学校ではなく、大人の礼拝に出るようという文書を配っておられます。これも確かに有効な方法だと思います。女子聖学院では、中学、高校とも前期・後期二回のレポートを提出するために、各学期に一回ずつ、年間で最低二回は教会の礼拝に出席することになっています。そのような中で前期・後期各二週のうち、一四回以上出席している生徒が約一割います。女子聖学院で実施したアンケートによりますと、「ほぼ毎週」、「大人の礼拝」に出席しているという生徒が、洗礼を受けている生徒を中心に中高あわせて三〇人ほどいるものの、「教会の礼拝のうちどの礼拝に出席しますか」という問いに「大人の礼拝」と答えた生徒の大多数が、「教会にどのくらい通っていますか」という問いには、「レポートの時」つまり前期・後期各一回ずつと答えています。そして、「教会にどのくらい通っていますか」という問いに、「ほぼ毎週」と答えた生徒の多くが、「教会の礼拝のうちどの礼拝に出席しますか」という問いには、「教会学校」と答えているのです。このことから、中高生にとって大人の礼拝は、年に二、三回なら良いが、毎週出るのは難しいことがわかります。

このことから、主として教会の側での取り組みの課題が明らかになってきます。それは教会学校ならば、ほぼ毎

週出る生徒が、どうしたら大人の礼拝にも出るようになるかということです。教会学校を卒業した生徒を、いかにして教会まで卒業させてしまわないかということです。そのためには、二つのことが考えられます。一つは、教会学校の礼拝と教会の礼拝との垣根を低くすることです。これには、まず教会学校の中高生の礼拝の内容を充実させることが必要です。内容においても、長さにおいても、あくまで高中生に即しながらも、大人にも対応できるようなものにしていく必要があると思います。その一方で、牧師先生方を前にして大変申し上げにくいことではありませんが、大人の礼拝も高中生が出ることでできるような内容と時間にしていく必要もあるのではないのでしょうか。もう一つは、多くの生徒が集まる教会学校の先生方が、生徒たちを真剣に受け止めてくださり、日々祈ってくださいているように、教会学校の先生以外の教会員の方たちが教会に集められる中高生たちのことを思い、中高生のために祈ってくださいることではないでしょうか。何も特別扱いしてくださいと申し上げている訳ではありません。特別扱いされるのは、若者たちにはかえって重荷になるようです。大切に思ってください、若者たちが救われるように祈っていただきたいのです。

忘れてはならないことは、わたしたちが福音を伝道するのは、一人の人が、滅びから永遠の命へと救われるためだということです。誤解を恐れずに言えば、教会あるいは学校を少子高齢化の大波から守ること自体が目的なのではありません。それは、言わば後から付いてくることなのではないでしょうか。若者たちが救われるために、教会と学校が、これからも共に手を携えて行きたいと願っております。これで、わたしの発題を終わらせていただきます。ご清聴、ありがとうございます。

三 「教会紹介シート」に記された各教会の取り組み

中高生には中高成人科に参加してもらうか、礼拝だけか、各々選んで参加してもらおう。(日本基督教団赤坂教会) / 教会学校の礼拝に、大人の教会員も出席し、大人の礼拝につながるようにと願っています。(日本基督教団浅草北部教会) / 年四〜五回の「こどもとおとなの合同礼拝」を開催しています。(日本キリスト教会浦和教会) / 教会学校の教師以外の方にもジュニア科の説教や分級を担当していただき、子どもたちと親しくなってもらおうなどのことをしています。(日本基督教団浦和東教会) / 中学生以上は年に数回、大人の礼拝に合流しています。(日本基督教団江戸川教会) / 年に二回ほどの合同礼拝、またバーベキューなど大人と子どもが交流できる機会を通して、つながるように努めておりますが、なかなか難しいのが現状です。(日本基督教団桜美林教会) / 中高生だけの礼拝はなく、一つの礼拝に教会全体が共に集うことを基本にしています。近年、分級だけ出席し、礼拝には出ずに帰ってしまう中学生への対応に苦戦しています。(日本バプテスト連盟大井バプテスト教会) / 年に三回、第一主日は大人の礼拝に出席する日とし、教会学校中高生の礼拝と分級は行わない。年に五回、家族礼拝として九時〜一〇時に賛美の多い気軽な雰囲気での礼拝を行い、家族、友人を招くよう呼びかけている。この際、中高生、小学生の礼拝と分級はなし。(日本基督教団柏木教会) / 年四回、日曜学校と大人の礼拝を合同で行い、子どもたちも日頃から大人の礼拝への移行が無理なくおこなえるように考えています。礼拝の中では、洗礼や聖餐なども近くに見ており、自分たちの成長の先をえがくことができるだろうと思っています。また、日曜学校礼拝の中でも、一曲は、讃美歌をもちいています。(日本キリスト教会柏木教会) / 分級は、一〇時一五分〜一〇時四五分に持ち、CS礼拝又は

共同礼拝を選んで出席。(日本基督教団亀戸教会) / 高校生になると、なるべく大人の礼拝に出るように指導して
います。(日本基督教団川越教会) / 合同礼拝を年七〜八回おこないます。夏休み、冬休み、春休みに大人の礼拝
に誘導しています。(日本基督教団北千住教会) / 青年会のバーベキューに中高生をさそい、つながりをもつこと
位しかしていません。現在本気で考えている最中です。学校側のアドバイスもあつたらきかせて下さい。(日本基
督教団 吉祥寺教会) / 時々讚美の奉仕をしてもらう等。イースター、クリスマス祝会の部分参加等。(日本基督
教団清瀬旭が丘教会) / 年二回、主日礼拝と合同で礼拝をします。(日本基督教団経堂緑岡教会) / 年二回、「子ど
もと共なる礼拝」として合同礼拝を持っております。このときは、CS生徒も全員合同礼拝に参加します。(日本
基督教団久が原教会) / 高校生は大人の主日礼拝をすすめております。(日本基督教団小石川明星教会) / CSの
生徒さんが、教会学校教師とのみ交わるだけでなく、大人と一緒にの礼拝に一〇分〜二五分出席する事により生徒さ
んと教会員の間に親しい関係が生まれるよう工夫しました。(単立 小岩四恩キリスト教会) / 中学生から大人の
礼拝に出席をすすめて、礼拝にとにかく出席し、大事にする事を願っています。(日本基督教団小金教会) / 分級
を礼拝前に行い、通常の大人の礼拝に出席して、そこでの奉仕(例えば、献金又は報告)に参加している。(日本
基督教団埼玉中国語礼拝伝道所) / 朝九時の教会学校に出席されない人は、朝一〇時三〇分の大人の礼拝に出席し
て頂く。それでも不可能な場合は夕拝午後四時半に出席して頂く。年二回五〜六月頃の創立記念チャペルコンサ
ートを開催、クリスマスチャペルコンサートを開催しています。(日本基督教団桜ヶ丘教会) / 中学生以上の生徒に
は、大人の礼拝出席をすすめるようにしております。事前に出席することが分かっている場合は、説教要旨を予め
用意することにして当日お渡しします。(単立幸手キリスト教会) / 年に三回(花の日・こどもの日、子どもの祝
福式、クリスマス)は聖日礼拝と合同で礼拝を守る。中高科と青年会の交流。イースターエッグ(子どもたちがラッ

ピングシールを作成、配布。もらった信徒から礼状が来る。)(日本基督教団下谷教会) / 年に何度か大人と子ども
の合同礼拝を持つ。(日本基督教団自由が丘教会) / 高等学校生徒、大学生は大人の礼拝に出席する(日本基督教
団十条伝道所) / 毎月第二、四週は大人と子どもの合同礼拝を行い、CSは合流する形となっている。(日本基督
教団頌栄教会) / 月に一度、合同礼拝をしています。(日本基督教団高崎教会) / 高校生は中高科の礼拝出席をし
ていますが、大人の礼拝へ出席するよう指導しています。また、毎月第二日曜日は教会全体礼拝として、子どもと
大人と一緒に礼拝を守っています。(日本基督教団高輪教会) / 合同礼拝(毎回)の中で、着席位置を変化させな
がら、本人の自覚を促す仕方を試みています。信仰継承の日に、未陪餐会員を覚えて祈ります。牧師が普段から未
信者の家族を教会にお誘いすべく、教会員に声をかけてゆく。(日本基督教団玉川平安教会) / 青年会のクリスマ
ス祝会や修養会に、高校生の参加を勧めています。各分級に青年が担任教師として奉仕しています。昨年は幼い頃
から通った高校生が受洗しました。(日本基督教団千歳船橋教会) / なかなか苦勞しているが、CSに在籍した子
どもと、CSに在籍中の保護者への案内状を送付している。年三回家族礼拝実施。クリスマスイヴ礼拝でのCS生
徒の奉仕。(日本基督教団千葉本町教会) / 礼拝を楽しくしています。メッセージはいつも素晴らしく、賛美もバン
ドの奏楽(ギター、ベース、ピアノ等)の中でささげています。また、四月には、環境の変わる中学生、高校生の
ために、証しによるプログラムを用意して励ましています。(日本福音教会東京グレイス福音教会) / 五月二七日
のペンテコステ礼拝やクリスマスのときに大人の賛美に参加していただいています。(日本基督教団土気あすみが
丘教会) / 年間、子どもと大人の全部合同の礼拝が五〜六回ほどあり、その時は子どもも礼拝に最後まで出席しま
す。基本的に礼拝は大人の礼拝ですから、高校生にとっても(分級がなくなるだけで)違和感はないようです。(日
本基督教団所沢みくに教会) / 夏休み、冬休み中は主日礼拝に出席をすすめています。長寿祝福式のある主日礼拝

でCSからお祝いのごとばを言ってくれる小学生を、イブ礼拝で中高生から聖書朗読者を選び、奉仕してもらっています。(日本基督教団鳥居坂教会) / 部活や塾で行けない日は生徒が夕方祈りに来る。聖日であることを覚えさせる。親の祈りが子どもに伝わっている。(日本基督教団七里教会) / 教会学校に在籍していた生徒にクリスマスカードを送付。(日本基督教団西片町教会) / 秋に一回とクリスマスに、子どもと一緒に合同礼拝をささげています。(日本基督教団西川口教会) / 礼拝は大人から子ども一緒に礼拝です。小学生は子どもメッセージがあります。(日本バプテスト連盟西川口キリスト教会) / 私達の教会では幼稚科から高等科まで一緒に礼拝を守っていて、幼稚科のときから高等科へとつなげる努力をしています。そして高等科にて成人礼拝に出るようにとすすめて、お祈りやせ等をこまめにお出ししています。一学年で数人の人が成人礼拝につながる可能性をもっておられ、祈りつつ、お誘いしています。成人のなかに何人かのミッションスクール卒業生がおられ、よき働きをして下さっていることは、何よりの喜びです。(日本基督教団 日本橋教会) / 小学校の皆さんが大人の礼拝に合流し「小学生と共なる礼拝」をしています。(年に一回) 中高生が礼拝の司式や讚美指揮を行う中高生による礼拝をします。(年に一回) (日本バプテスト浦和キリスト教会) / 全年齢層の教会学校、全年齢一緒に日曜礼拝を目指しています。(日本バプテスト連盟日本バプテスト川越キリスト教会) / 愛餐会にさそってみます。(単立練馬栄光キリスト教会) / 年二回合同礼拝。(六月、十一月) (日本基督教団野方町教会) / 子どもたちも一緒に礼拝しています。プログラムに「子ども賛美」と「子ども信仰問答」を入れています。(日本福音自由教会東川口福音自由教会) / 第三主日に「大人と子どもが共に守る礼拝」、年二回(春と秋)「教会家族礼拝」。前者は牧師、後者は信徒が奨励をする。毎月、リーダー以外の教会員に子どもの教会の礼拝で奨励をさせていただく。(日本基督教団東中野教会) / 大人の礼拝に出席して、礼拝の大切さを体得してもらおう。声かけをして、心のつながりを持ってもらう。(日本基督教団東大和教会)

／中学一年の九月第一聖日が、デビュー礼拝となり、この日より大人の礼拝に終わりまで出ます。その後、中高生クラスの分級になります。(イムマヌエル総合伝道団深川教会)／聖日礼拝(合同礼拝)にハンドベルで奉仕があります。(日本基督教団本郷中央教会)／年に五回、CSと合同の家族礼拝として主日礼拝をする。(日本基督教団本多記念教会)／合同礼拝。賛美礼拝。(日本フリーメソジスト教団町田福音キリスト教会)／第二日曜日は、中高生は大人の礼拝に出席し学ぶ。年三〜四回教会学校全員が大人の礼拝へ出席する。(日本基督教団松沢教会)／教会学校は、大人の礼拝と一緒に始まり、一緒に祝祷を受けて終わります。大人向けの説教の前に、同じテキストで子ども向けの説教が五〜七分あります(小学校低〜中学年向け)。その後別室で分級があり、大人の説教の終わる頃に合流し(聖餐式)、献金、祝祷等を共にします。なお、ご家庭が信仰を持っていたくことを重んじておりますので、ご両親も大人の説教を共に聴いて頂きます。(日本基督教団美竹教会)／高校生になっても、日曜学校のお手伝いをお願いする形で残ってもらい、配慮や参加ができる形を残している。(日本キリスト教会南柏教会)／イースター、クリスマス等の合同礼拝実施。(日本キリスト改革派南越谷コイノニア教会)

四 「教会についてのアンケート」への生徒の回答から

① 教会に行つて良かったこと、楽しかったことを教えてください。

私の教会は幼稚園付属なので教会は小さい頃から行つていますが、友達がいることはもちろん、三才〜七十、八十才まで、かぎりなく色々な人と話せることが、とても良かったです。／聖書をいつでも読みたくなることが良かったと思う。そして、ミニオルガンを弾かしてもらえることが楽しい。／良かった事は、顔と名前を覚えてもらっ

たことです。) / 色々な人と行事に取り組めて、楽しかった。 / 色々な話を聞けて良かったし、イエス様のことに
ついてすべて良かった。 / 聖書について、毎回聞いた箇所でも、いろいろなとらえかたがあることを知る事ができ
たこと。(以上中二)

神様の愛が知れて良かった。教会へ行つてとても落ち着くことが良いと思う。 / 教会の方々が優しい。分かりや
すい説教をしてくれる。 / ケーキを作った(クッキー)。小さい子と一緒に遊べる。 / 教会に行つた分だけ知り合
いが増える。沢山の人と交流できる。 / 教会の方々が家族のように感じられ、充実した時間が過ごせる。 / 同じ学
校の友人以外にも、違う学校の友人ができ、教会内のいろいろな行事に参加させて頂いている事。(以上中三)

教会にあるリードオルガンでの演奏を任せられたこと。分級の内容が来るたびに楽しくなる。 / 中一から同じ教会
に行っているの、同じ年の子と友達になれて良かったです。他に、悩みなどを教会の先生が聞いて下さるので嬉
しいです。 / 他校の生徒との交わり。他校の子と友達になりました！私の教会は付属幼稚園があり、小さい子と
触れ合うことができる。 / 年上や年下の友達と楽しく話すことができる。 / 学校で出会えない人に出会えた！(以
上高一)

神様という素晴らしい方に出会えたこと。牧師先生をはじめ、教会の多くの方々に祈っていたこと。中高
生と共にバンドをやり、神様をたたえることが出来たこと。 / 教会学校でサマーキャンプに行った時、小さい子ど
も達がたくさん居たので、新しい交流がたくさんあって、楽しかった。 / 毎週、毎週あたたかく迎えて下さり、同
世代のクリスチャンの友達も増え、礼拝の賛美や礼拝以外の食事の時間、夏の行事などみんなでがんばった徹夜祈
禱会も全部たのしかったです。 / 行事ごとに皆さんとご飯を食べたりしたこと。(例えば、クリスマス、イースタ
ー、ペンテコステ等) / 教会にずっと行っていて、洗礼を受けたことが良かった。(以上高一)

普段なら絶対に接しないような友人ができました。／年齢が違う人とも仲良くできること。自分の将来について話せたりできること。ストレスが解消されること。／みんなでお菓子を食べるのを楽しみに行っていました（中一の頃は）。キリストのDVDをみんなでアイスを食べながら鑑賞しました（夏のイベントです）。大人の方が多いので、大学のこととか職業を知るきっかけになりました。／運動会等の行事があり、学校とは違った同年代の友達年上の人や年下の人と仲良くすることができます。（以上高三）

② 教会に行き、そこで学んだことを教えて下さい。

神様からどれだけ愛されているか、一人一人がかげがえのない存在ということ。／先生と話して学ぶことはもちろん、小さい子にもわかりやすいように話をまとめてくださるので私でもわかりやすく学べます。／聖書には人を元気にさせる言葉がいっぱいあることです。／イエス様について、もっと知る事ができた。／イエス様の誕生日のこと、イエス様がいた時代のこと。／イースターやクリスマスのページェントなどを通して教会の歴史や、イエス様の誕生について。（以上中二）

歴史の事（意味など）を沢山まなんだ。／神様の愛。／中一の時、イエス様が十字架にかかって私たちの罪をかぶっていたことを知りました。／人にやさしくすること。人の上に立ちたいなら、人のために努力する。／神様、イエス様がどのようなお考えを持って、この地を造り、私たちが存在しているということ。子どもやお年寄りの方との接し方。／日々、周りの人に感謝し続けるということです。（以上中三）

希望を捨てずに、救いの日を待つこと。闇は光に打ち勝つことはない。そして何よりもイエス様は私の為に十字架にかかって下さる程に私のことを愛して下さっているということ！／自分は決して一人ではない。／聖書の内容

で分かりづらいところを細かく教えて下さるので良く分かります。／色々な先生の説教を聞いて、先生の思いやその時の弟子達の気持ちなどが良く分かった。(以上高一)

違う国の人も、みんな友達！というのを実感した。はじめて行ったとき、みんなの仲の良さに圧倒された。／誰かと共に祈るによりお互いが強められるということ。賛美を歌うことにより、平安で心が満たされるということ。／聖書の教えに従って、神様の御心のままに行動すれば救って下さる。／小さい子や小学生など下がの子たちがたくさんいるので、いろいろなお手伝いができ、少し大人になったと思います。特に聖書の解釈で「そうナンだー！」と思うことがたくさんありました。／神様の愛(学校でも学んでいます♡)。特に自分の何倍も生きていく方々の話を聞くと、自分の悩みなんてちっちゃいなーって思う。／日常生活で困難にあつた時、教会のおかげで解決できた！／信仰心が本当に生まれた。協調性が活動を通して生まれた。無茶振りに対応できるようになった。(以上高二)

人に優しくすることを学びました。／どんな時も祈ること。教会ではすべて祈りから始まり祈りで終わります。そこで祈ることの大切さを知り、何事も神様に委ねられるようになりました。お祈りが上手になりました(笑)。／教会の人たちは自分が苦しい状態にある時でも神様の計画と捉えているので、深い信仰心があるということを読んだ。(以上高三)

③ 教会に期待することを教えて下さい。

もっと交わる会を増やしてほしい。／とくにありません……いつも期待しています(先生方)。／教会には悩んでいる人とかが普通に入って来て、教会の中にいっぱい人が集まってくれます。／クリスマスス礼拝。／同じ

聖書の箇所でも教会の先生は違う説教をして下さること。／これからも、読んだことのない聖書のお話をたくさんはなしてほしい。日韓青少年合同修養会を続けてやってほしい。(以上中二)

教会の方々との交流など。／毎週おかしくり。／初めて行く教会には、誰も知り合いがないから、それまでの人間関係などが嫌になって悩んでいる人は、気軽に行ける場所だと思う。そのような人たちを救えると思う。／クリスチャンでない方々が入りやすいような教会づくり。／「洗礼」をより身近に感じる事のできる説教など(特に子どもに向けて)。(私はクリスチャンホームで育ち、神様を信じていましたが、洗礼についての知識が乏しく、誰かに聞く勇氣もなかったので、なかなか受洗できませんでした。なので、受洗しやすい環境をつくることは大切だと思いました。)／聖書を通して、将来役立つ事をもっとたくさん教えていただきたいです。(以上中三)

もう十分!／今までのまま、大きくなっても行きたい。／今も多けれど、もっとイベントを増やしてほしいです。／洗礼を受けていない人でも、もっと説教をやしてほしい。／もっとイベントがほしい!(以上高一)

もともと若い人に教会に行ってほしい。そのために教会が何かしてほしい。／多くの求道者が教会につながって共に礼拝をし、受洗まで導かれる人が多く出る教会になるということ。／ただ礼拝するだけでなく、教会の方達と仲良く出来るような時間があると嬉しいかもしれません。／もつと子どもが増えますように!!先輩や後輩と一緒に交わる時間をもっとほしい。土曜礼拝があれば日曜日行けないときにいけるのだけどな〜って思います。／もつともつと若い人に教会に行って欲しい。そのために教会が何かしてほしい。(以上高二)

サムエル会(中高生会)の活動!もつと楽しく出られる礼拝。ゴスペルを歌ったりしてみたい。／人に優しくすることを学びました。みんなが行きやすくなるような工夫。(以上高三)

④ その他、教会で感じていることがあれば何でも良いのでお書き下さい。

いろいろな話ができ、もちろん相談もできるので、毎日曜日が楽しみです！／私は教会に行つて一〇年です。

同じ話を聞いても先生がちがつたりするので、いつも楽しく聞いています。／教会に行くと、気持ちがよく落ち着きます。／ハイスクール科に出ています、みんな優しくとつても楽しいです。／教会の先生が気軽に話しかけてくれるところ。／昨年は一回も休まずに教会に行く事ができ、新しく洗礼を受けられた方や教会員の方がくると、自分も皆さんといっしょに喜ぶことができるようになりました！（以上中二）

教会へ行つたらとても落ち着く。神様を賛美したい気持ちになる。／今のままでいいです。／教会学校の先生がたがとても優しい方ばかりで毎週教会へ行くのが楽しみです。（以上中三）

とにかく、楽しいから、いとこと毎週行っています♪／初めて来たときは本当に不安でしたが、先生方が本当に優しくしてくれた上に、奏楽まで任されたのは本当に嬉しいです。／今週行くのが楽しみです。／私の教会はアットホームで好きです！／ゼロ歳〜お年寄りの方まで、色々な人がいて、その中でも卒業生の方などとお話をします。／みんなしんせつ♡（以上高二）

四月から教会学校の協力スタッフとして奉仕をさせていただいていることに感謝しています。ほかに私にできる奉仕があればさせていただきたいです。／教会はすごく暖かくて毎週行くことがたのしみです♡ 私の通う教会は若い人もたくさんいて刺激があつて毎日たのしいです。賛美が特に楽しい！！みんな踊っています☆／教会は少し入りづらいため、もつと入りやすい教会があれば若い人が入れる。／∴出てくるお茶がちよつと熱くて飲めない。／私にとっての教会は、雰囲気がとても良く、ぜひ、また来週も行きたいと思えるような場所です。（以上高二）
礼拝は長いし、高三での出席はキツイですが、心が洗われます。／通われている方々の心の温かさを毎週感じて

どうしたら大人の礼拝につながるのか

います。それと、幼稚園生が可愛い。／学校を卒業しても、通い続けたいと思っています。(以上高三)

(二〇一二年七月二日、「教会と聖学院の懇談会」における発題)